



### 碧南市は小さい子どもたちのパラダイス

碧南市は、小さい子どもたちにとっては遊ぶところがいっぱいあって、とても楽しいところです。パラダイスです。

まず何といつても明石公園があります。どんな乗り物でも100円ということもあり、市内外から大変多くの子どもたちが家族連れでやって来ます。遊具利用回数は、平成22年度93万回、23年度93万回、24年度98万回、25年度99万回、26年度101万回、27年度114万回、28年度111万回ということ、人気はますます上がっています。

次に西三河では唯一の水族館があります。あまり広くはありませんが、小さい子どもたちなら大満足です。さかなの帽子も大人気です。平成31年3月には、ピオトープも完成し、より身近にさかなたちと触れ合うこ

とができるようになります。年間の入館者数は、ここ数年は、約13万人です。畑のなかにあるあおいパークも、いろいろな野菜やイチゴ、メロンといったフルーツの収穫体験ができるので、子どもたちには大人気です。市内外の幼稚園、保育園などから遠足や社会勉強で、バスに乗って収穫体験にやってきます。あおいパークの来園者数は、平成22年度108万人、23年度104万人、24年度106万人、25年度103万人、26年度102万人、27年度101万人、28年度103万人で、15年連続で100万人を超えています。

中部電力のテーマ館・たんトピアも子どもたちには人気です。ここには、広大なピオトープや季節ごとの様々な花が咲いており、家族でのんびりした時を過ごすことができ、愛知県での穴場的施設です。年間6〜7万人の入館者があります。

また、マンモスプール跡地に造成した臨海公園には、山の斜面をすべるソリや水遊び場や多くの遊具があり、子どもたちには大人気です。今年オープンする碧南レールパークや油ヶ淵水辺公園も子どもたちが遊べるところです。

最近では臨海部で、世界中から技術者がやってきて飛行機のように離陸して宇宙に行つてまた着陸できる宇宙船を作っています。

市民の皆様はもちろん、市外・海外の皆様、子ども連れでの来碧を心よりお待ちしております。

## 国民健康保険療養費の申請

**問合せ** 国保年金課国保係

次の場合は、いったん全額自己負担となりますが、申請により自己負担分を除いた額が払い戻される場合があります。なお、療養費の申請期限は、医療費などを支払った日の翌日から2年以内です。

療養費を支給できる場合	申請に必要なもの
① 事故や急病で、やむを得ず保険証を持たずに診療を受けたとき	領収書、診療内容の明細書、保険証
② 医師が治療上必要と認め、コルセットなどの補装具代がかかったとき	医師の診断書、領収書、保険証
③ 海外渡航中に受診したとき（治療目的の渡航は除く）	診療内容の明細書、領収明細書、保険証、パスポート

※②の補装具で靴型のものについては、当該装具の写真または現物の提示が必要です。③は明細書などが外国語で作成されている場合は、日本語の翻訳文が必要です。渡航前にお問い合わせください。

### 市制70周年記念事業

#### 議場公開 - 議場を見に来ませんか



市議会では、市制70周年事業として、議場を皆さんに公開します。普段、傍聴席しか入ることのできない議場に是非お越しください。

**とき** 5月27日(日) 10時～12時(随時)

**ところ** 市役所7階議場

**内容** 議場や市議会の解説、議場内の自由撮影、70インチ大型ディスプレイの操作体験など(20分程度)

**申込み** 5月24日(木)までに電話またはEメールで議会事務局議事係 (☎gikai@city.hekinan.lg.jp)